

KONDO Naoko

近藤 直子 コンドウ ナオコ

教授

教育学修士（京都大学）

京都大学教育学部卒業(1973), 京都大学大学院教育学研究科博士課程中退(1977), 大阪府狭山保健所発達相談員(1973~1977), 日本福祉大学赴任(1977), 名古屋市港保健所発達相談員(1978~), 京都大学教育学部国内留学(1988), 障害学生委員会委員長(1995~1997), 障害学生支援センター長(1998), 学生部長(1999~2004), 心理臨床学科長(2005~2008), 副学長(2009~).

【研究分野】

発達心理学, 障害児心理学.

【キーワード】

1歳児, 自我, 早期対応, 人間的自由.

【担当授業科目】

学 部 : 発達心理学概論, 知的障害児の心理.

通信教育部 : 福祉社会入門, 障害児心理学.

【主な研究テーマ】

1. 1歳児における自我の発生過程の検討

1歳児は「イヤ」「ジブンデ」といって自己主張を始める時期であるとともに、鏡を見て自分の像を認識し始める時期でもあります。行動の主体として、認識される客体としてのこうした自我が、どのように、何によって生まれるのかを縦断的に研究しています。

2. 人間発達の本質についての検討

障害をもつ子どもとその家族の生き様をふまえ、人間が発達するとはどういうことか、発達を保障するとはどういうことかを、人々のリアルな現実即しつ検討しています。

3. 障害の早期発見と早期療育の意義及びシステムのあり方

何故、早い時期からの療育が必要かを、単に“障害”という側面からとらえるだけでなく、子どもの生活、父母の心理的サポートという側面から深めるとともに、子どもにとっても父母にとっても充実したケア・システムはどういうものかを、父母の生の声や、実態調査をもとに検討しています。

【主な研究業績】

<著書>

- 『障害のある子どもと「子ども・子育て新システム」』 総頁103p, 共著, 「障害者自立支援法とウリ二つの「子ども・子育て新システム」」 pp.10-28, 全国障害者問題研究会出版部, 2011.03.
- 『笑顔がひろがる子育てと療育-発達支援の場を身近なところへ-』 総頁150p, 編著, 「乳幼児期の発達と発達支援の意味」 pp.8-18, 「おわりに-どこに生まれても無償で療育の保障を」 pp.148-150, クリエイツかもがわ, 2010.08.
- 『続 発達の芽をみつめて-かけがえのない「こころのストーリー」-』 総頁158p, 単著, 全国障害者問題研究会出版部, 2009.04.
- 『障害者自立支援法と子どもの療育』, 共著, 「第2章 私たちのねがう療育システム」 pp.41-53, 全国障害者問題研究会出版部, 2005.11.
- 『新版テキスト障害児保育』, 共著, 「はじめに」 pp.3-6, 「2章 保育実践の展開」 pp.33-49, 全国障害者問題研究会出版部, 2005.03.
- 『あなたの街にも発達支援の場を-笑顔の子育て「児童デイサービス」』, 共著, 「はじめに 2」 pp.3-4, 「4章 はじめに」 pp.42-43, 「5章 はじめに」 pp.74-75, 「4章 3 地域の発達支援システムの中で」 pp.114-124, 「おわりに」 pp.125-126, かもがわ出版, 2004.08.

<論文>

- 「ノーマライゼーションと統合保育」, 『厚生労働省平成21年度障害者保健福祉推進事業「障害児施設の一元化に向けた職員養成に関する調査研究」研究報告書』, 単著, 全国児童発達支援協議会, 2010.03, pp.141-143.
- 「子どもは発達の主体」, 『現代と保育』75号, 単著, ひとなる書房, 2009.11, pp.6-26.
- 「子どもたちに豊かな「こころのストーリー」を保障して」, 『日本の学童ほいく』10月号, 単著, 全国学童保育連絡協議会, 2009.10, pp.7-12.
- 「障害がわかった時」, 『みんなのねがい』11月号, 単著, 2006.11, pp.6-7.
- 「『発達障害者支援法』の施行を踏まえた保育士研修」, 『地域と臨床』第15号, 単著, 日本福祉大学心理臨床研究センター, 2006.03, pp.77-82.
- 「乳幼児健診の現状と課題」, 『みんなのねがい』2008年7月号, 単著, 全国障害者問題研究会出版部, 2008.07, pp.10-15.
- 「発達支援の視点に立った障害乳幼児療育体系の検討」, 『障害者問題研究』第35巻第3号, 単著, 全国障害者問題研究会出版部, 2007.11, pp.10-18.
- 「軽度発達障害の発見と対応に関する動向と今後の課題」, 『地域と臨床』第16号, 単著, 日本福祉大学心理臨床研究センター, 2007.03, pp.3-14.
- 「障害者自立支援法において乳幼児施策はどのように策定されたか」, 『地域と臨床』第16号, 単著, 日本福祉大学心理臨床研究センター, 2007.03, pp.24-42.
- 「障害児の保育・療育をめぐる現状と課題」, 『保育白書』05年度版, 単著, ひとなる書房, 2006.08, pp.83-86.

<その他>

- <記念講演>子どものねがいを大人たちのねがいに-地域の中で手をつなぎあって, 『全障研第44回全国大会報告集』みんなのねがい1月臨時増刊号, 2011.01, 総頁144pのうち pp.20-27.

【社会における活動と仕事】

名古屋市港区名古屋市港保健所 心理判定員(1978~), 全国障害者問題研究会 愛知県支部支部長(1990~), 全国発達支援通園事業連絡協議会 会長(2002~), 社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 理事・評議委員(2004~), NPOあいち障害者センター 理事長(愛知県)(2004~), 厚生労働省障害福祉課 障害者自立支援研究事業「障害児施設の一元化に向けた職員養成に関する調査研究」研究員(2009~2010).

【趣味】

障害者運動, そぞろ歩き.